



ふれあいの輪、さらに広がります

2023

No.648



JAあまるめ

HONOKA



特集① 第17回 JAあまるめゴルフコンペ

特集② 令和5年度 余目町農協生産組合幹部研修会

<http://www.ja-amarume.or.jp>

JAあまるめ

檢 索



JAあまるめ



JAあまるめ

JAあまるめ生活館
(Aコープあまるめ)

JAあまるめ
資材館



JAあまのめ 広報ほのか

- 編集と発行/余目町農業協同組合
- 編集責任者/渡会 武司
- 印刷/JA印刷山形
- 令和5年9月

JAあまるめホームページ
http://www.ja-amarume.or.jp

Instagram X (旧Twitter) Facebook



令和5年度 余目町農協生産組合幹部研修会

情報に基づいた土づくり 生産組織の今後の在り方を研修

特集②

8月25日、湯野浜温泉「竹屋ホテル」で令和5年度余目町農協生産組合幹部研修会が4年ぶりに開催されました。各集落の生産組織とJA役職員合わせて72名が参加しました。今年度は、「情報に基づいた土づくりシステム」と「米穀情勢と生産組織の今後の在り方」について研修しました。



▲生産農家、農協役職員72名が参加



▲研修Ⅰの講師を務めていただいた藤井弘志氏

研修Ⅰでは、(株)ファームフロンティアの藤井弘志会長より「情報に基づいた土づくりシステムについて」単収向上とコスト低減の両立のために」と題し、講演をしていただきました。藤井弘志会長は、平成26年からの9年間、当農協と共に土づくりの大切さについて活動してきました。また、土づくり委員会を立ち上げた当初から、てんろ石灰散布の助言をいただく等、当農協の米づくりに大きく貢献いただいています。今回の研修では、毎年続く気象災害(高温)や肥料・燃油の高騰等、厳しい条件下で「単収向上」と「コスト低減」を同時に達成するためには、きめ細やかな圃場・生育の把握、圃場データの見える化を実現し、情報に基づいた管理(カルテ方式)また、「一律管理」から「選択・集中」が重要になると話されました。

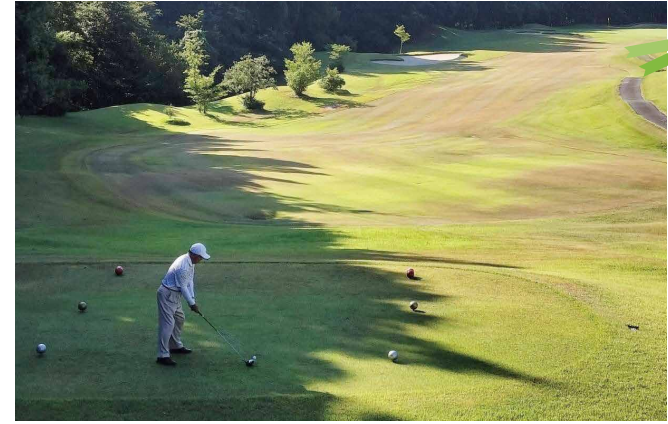
研修Ⅱでは、佐藤一彦組合長より「米穀情勢と生産組織の今後の在り方」と題して講演がありました。これからの稲作については、JA全農が米全量を環境に配慮したものにする目標を掲げたこともあり、当農協としても土づくりにプラスしてCO₂の削減に努める意向を示しました。また、令和4年産米の価格動向についても話され、「新潟魚沼コシヒカリを中心とした高価格銘柄柄が下落傾向にあるものの、山形つや姫はほぼ横ばいで価格帯が推移している状況であり、市場の中でも山形つや姫は評価が高い品種であります。生産している農家の皆さんは自信を持ってこれからも生産してほしい。」と生産農家の皆さんに向けてエールを送りました。



▲「米穀情勢と生産組織の今後の在り方」(佐藤組合長)

特集①

久しぶりに大勢でのプレー！ 第17回 JAあまるめゴルフコンペ



▲慎重に狙ってナイスショット連発！

8月21日、庄内ゴルフ倶楽部で第17回JAあまるめゴルフコンペが開催されました。今年度は、各取引業者の皆様も参加され総勢73名で優勝を競い合いました。

当日の天候は、例年に比べてとても暑い日となりましたが、参加した皆さんが日頃の練習の成果を存分に発揮できるベストコンディションとなりました。

渡部正己さん(酒田)が好スコアを記録し、優勝を勝ち取りました。上位入賞者については次の通りとなります。

プレー成績

優勝	渡部 正己さん(酒田)
	(44・51) グロス95 ネット66.2
準優勝	白畑 文弥さん(林建設工業)
	(39・42) グロス81 ネット73.8
3位	澤田 広瑞さん(御殿町)
	(42・45) グロス87 ネット73.8
4位	佐藤 剛さん(田谷)
	(45・47) グロス92 ネット74.0

※ダブルペリア方式による

ほか 目次

第17回 JAあまるめゴルフコンペ	2	フォト&トピックス	6
今月の表紙 えがお	2	チャレンジ家庭菜園	7
令和5年度余目町農協生産組合幹部研修会	3	理事会だより	7
山形県要請集会	4	ほのかほいす/8月号当選者・正解	8
水稲大豆共同防除/JAあまるめ型TAC活動始動	5	シェフ永井のおすすめ	8
農用地利用推進協議会/庄内町5団体交流会	5	ニュース&ニュース	9
		フルーツパラダイス	10

😊 お子さんの「えがお」、家族みんなの「えがお」を紹介いたします。



適正な価格形成・農業の持続的な発展に向けて 食料・農業・農村基本法の見直しに向けた山形県要請集会



△食料・農業・農村基本法の見直しに向けた山形県要請集会の様子。

JAグループは8月17日、山形市の山形テルサで「食料・農業・農村基本法の見直しに向けた山形県要請集会」を開催しました。県選出国會議員、山形県知事、県議會議員等を招き、食料・農業・農村基本法の見直しに向けた要請を行いました。



△主催者挨拶する折原敬一代代表理事

払交付金の見直しや個々の農家に対する新たな直接支払制度の導入等を強く訴えました。県下JAより生産者・青年部・女性部の代表・農協役員等、総勢約750人が集結し当農協からも役職員13名が参加しました。

集会では、山形県農業協同組合中央会折原敬二代代表理事会長の挨拶から始まり、吉村



△来賓挨拶する吉村美栄子山形県知事

美栄子山形県知事の来賓挨拶がありました。また、山形県地域営農法人協会・JA山形おきたま酪農振興会・山形県農業協同組合青年組織協議会・山形県JA女性組織協議会の代表4名が意見表明を行い、農業・農村を取り巻く厳しい現状や生産現場の生の声を国政に反映できるように、県選出国會議員に訴えかけました。

その後、県選出国會議員の挨拶があり、ガンバロー三唱で集会を締めくくりました。



△総勢約750人でガンバロー三唱

- 牡羊座(3/21～4/19) 用事が山積みでため息が出がち。ただ、思っているよりも動けます。効率良く動いてあなたの実力をアピール
- 牡牛座(4/20～5/20) 好運。心配事は取り越し苦労に終わりそう。抱え込みます人に話すと楽になります。買い物は計画性を発揮して◎

実りある秋に向けて

水稲・大豆共同防除



▲大豆共同防除の様子。

8月上旬から共同防除が行われ、水稲は約1,080畝(カメムシ)、大豆は約160畝(マメシンクイガ、紫斑病)に散布しました。令和3年度からカメムシの被害を更に減らすため、

水稲には2回散布を行っています。今年は、雨が降らない年となり、連日猛暑日となる暑い日が続きましたが、順調に作業を進めることができました。

水稲の生育状況は、平年より早いと予想されています。今後も暑い日が続きますので、農作業事故・熱中症には十分留意しながら気をつけて行っていきましょう。

9月4日(月)には農協役員の歩刈りを予定しています。

生産現場の生の声を

JAあまるめ型TAC活動始動



△跡集落でのTAC活動

JAあまるめは、8月から各集落の生産農家を対象にJAあまるめ型TAC活動を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で、組合員との関わりが薄れてきていることから、組合員との更なる結びつき強化のために、農協役員と管理職が現場に向向く活動を行いました。

生産現場の現状や課題、また農協への要望等、様々なご意見をいただきました。当農協としても、

組合員の皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえこれからの事業運営に努めてまいります。

尚、10月より引き続きTAC活動を行ってまいります。

※TAC活動：T(とことん)、A(あって)、C(コミュニケーション!!)

作況を踏まえ、豊作を期待

農用地利用推進協議会



△挨拶する佐藤一彦組合長

8月10日、当農協3Fホールで農用地利用推進協議会が開催され、生産農家・委託者代表・庄内町役場・JA役職員総勢13名が参加されました。開会にあたり、

佐藤孝也さん(下堀野)に農用地利用推進協議会委員としての委嘱状が交付されました。



△佐藤一彦組合長から委嘱状を受け取る佐藤孝也さん(下堀野)

佐藤一彦組合長からは、「令和5年産の全国作況は平年並み、山形県ではやや良となっております。協議会開催日現在、高温が続く状況ですが、豊作を期待したいところです。」と挨拶がありました。

令和5年度の水田賃借料、地域集積協力金(農地中間管理機構)について話し合われました。

食料・農業・農村基本法の見直しの方向について

第16回庄内町5団体交流会



△総勢87名が参加した庄内町5団体交流会

8月24日、当農協生活センターホールで4年ぶりの第16回庄内町5団体交流会が行われ、庄内町議会・農業関係団体等を含め87名が参加されました。

交流会では、東北農政局山形県拠点地方参事官佐々木春幸氏をお招きし、「食料・農業・農村基本法の見直しの方向について」と題して講演が行われました。

国際的な食糧生産の不安定化や農業従事者の減少を踏まえ、平時からすべての国民の食糧安全保障を確保するため、食料・農業・農村基本法を見直す方向で議論が進められているとのことでした。

- 双子座(5/21～6/21) 調子に乗り過ぎてしまったと思うことが。何でも1人でやろうとせず協力し合う方向で検討してみてください。金運は良好
- 蟹座(6/22～7/22) 友人や知人との会話が楽しいときです。近場の人気スポットを調べて足を延ばして。いつもと少し違う日常にツキ

庄内町国際交流協会主催
インドネシア農業研修生
農業研修会



▲当農協職員がタブレットを用いて、成分の違いを説明しました。

8月1日、庄内町国際交流協会がインドネシア農業研修生を対象に、当農協で農業研修会を行いました。

あらかじめ提供していただいた、管内の圃場の土と、当農協営農販売部の家庭菜園用の土を土壌分析し、タブレットを用いてpHや硝酸態窒素等、成分の違いを見比べました。

当農協資材館の店舗見学も行い、取り扱っている肥料や農薬等を見て、日本の農業について興味を示している様子でした。

令和5年度 青申会消費税研修



▲佐藤正樹氏によるリモートでの講演

8月1日、当農協生活センターホールで令和5年度青申会消費税研修が行われました。

研修では、JA山形中央会佐藤正樹氏よりリモートで、消費税の制度について講演を行っていただきました。令和5年10月1日より、「適格請求書等保存方式（通称インボイス制度）」が開始となります。インボイス制度の導入により、農業者にも様々な影響が考えられ、大事なポイントを抑える有意義な研修となりました。

女性部の定番事業！

ヨーガ教室を開催

8月24日、抛り所「しゃんしゃん」でJAあまるめ女性部によるヨーガ教室が開催され、部員9名が参加しました。

ヨーガ教室では、インドヨーガ教室を主催されている佐藤健志先生をお招きし、インドの伝統的なヨーガを学びました。また、呼吸法についても学び、吐く呼吸は自律神経を整える効果があることや、呼吸だけに意識を向けて他のことを考えないようにすると痛みが和らぐ効果がある等、日常生活にも活用できるような知識を得ることができました。

今回で第2回のヨーガ教室となりました。次回は10月下旬の開催予定です。



▲ヨーガの最初はナマステの挨拶！

歓迎 庄内町へようこそ

庄内町 南三陸町漁業体験交流事業
余目町農協健康管理友の会も参加

8月27日、余目第二まちづくりセンターで庄内町国際交流協会による南三陸町漁業体験交流事業が行われ、南三陸町伊里前漁協実行委員10名が来町されました。

健康管理友の会からも役員・前会長を含め、4名が参加し、7月12日・13日に行われた南三陸町復興支援研修会以来の再会に喜ばれている様子でした。

同事業は、約5年ぶりの開催となり庄内町・南三陸町の特産品のお土産交換も行われました。健康管理友の会では、庄内町と一体となつて友好町である南三陸町との関わりを深めていきます。



▲南三陸町復興支援研修会でもお世話になった三浦光喜さんの挨拶

理事会だより

◎ 農地利用集積事業賃借料の設定について

令和5年8月10日に農用地利用推進協議会を開催し、令和5年度農地利用集積事業賃借料について、下記の通り意見が集約されました。

※令和5年度の賃借料を前年より1,000円引下げて設定した。

土地改良事業整備地	未整備地
10,000円	7,000円

《報告事項》

- (1) 組合員の加入脱退について
- (2) 各種委員会の報告事項について
- (3) 介護予防事業報告について
- (4) 自主検査チェックリストの報告について
- (5) お盆セールの実績について
- (6) 時価算定額要領の改正について
- (7) 時価算定マニュアルの改正について
- (8) 不正・不祥事、苦情等対応要領の改正について
- (9) 内部相談・通報（ヘルプライン）事務処理マニュアルの改正について
- (10) 令和5年度 JA夏まつりの報告について
- (11) 第17回 JAあまるめゴルフコンペについて

● 7 月 末 の 実 績 ●

		実 績	計画比	前年比
正 組 合 員		943 名		98%
販 取 売 扱 品 高	農 産 物	346,246 千円	79.3%	88%
	畜 産 物	127,271 千円	95.5%	106%
	計	473,517 千円	83.1%	92%
購 取 買 扱 品 高	農 産	141,822 千円	105.3%	95%
	畜 産	22,635 千円	117.9%	113%
	店 舗	238,370 千円	97.8%	103%
	農機自然	169,094 千円	114.5%	116%
	計	571,921 千円	104.8%	104%
加 工 事 業		106,862 千円	102.0%	108%
貯 金 高		11,657,842 千円	99.6%	102%
貸 出 金		2,842,152 千円	105.3%	107%
長 期 共 済 (保 障)		625,750 千円	78.2%	84%



ラディッシュ サラダの彩りに

ラディッシュはダイコンの仲間で、欧州系の極早生種です。根部は小さくて球形や細長い形で色は白、赤や紫色があります。別名をハツカダイコン（二十日大根）というように、適期には1カ月程度で収穫できます。

中間地ではほぼ周年種まきができます。種は少なめにまきか、間引きを早めに行つて発芽時の軸の伸び過ぎを防ぎます。
【品種】 代表的な品種は、早生で赤丸の「ニューコメント」（タキイ種苗）、紡錘（ぼうすい）形で紅白の彩りの「紅白」（サカタのタネ）、太さ1cm程度の白色細長のミニダイコン「雪小町」（サカタのタネ）など、かわいらしい品種がたくさんあります。

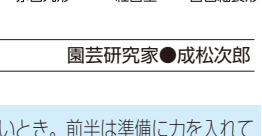
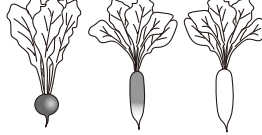
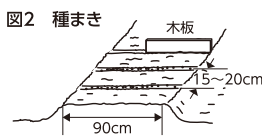
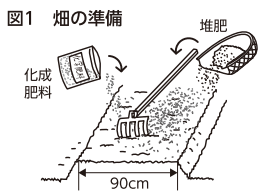
【畑の準備】 種まき2週間前に1平方 m当たり苦土石灰100g、1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥2kgを全面にまきます。よく耕し、幅90cm程度の栽培床（ベッド）を作り、平らにならしておきましょう（図1）。

【種まき】 条間15～20cmのまき溝をベッドに直角方向に切ります。まき溝は木板を土に押し付け、溝を付けると深さが一定になります（図2）。種が重ならないように1cmくらの間隔でまき、土を薄くかぶせます。その後、乾燥や強い雨を防ぐために、ベタがけ資材で覆います。

【間引き】 初め（図3-1）は本葉が見えた頃に重なっているところを抜き取ります。その後（図3-2）、葉が触れ合う程度に間引きをし、最終的（図3-3）に10cm間隔にします。最後の間引きのときに1平方 m当たり化成肥料30g程度を条間にまき、根元に軽く土寄せします。

【病害虫の防除】 アオムシやコナガの被害から守るには、ベタがけ資材や防虫ネットの利用が有効です。種まきから収穫までネット被覆をしても良いでしょう。

【収穫】 肥大が進んだ株から順次収穫します。赤色丸形の品種では直径2、3cmが適期です（図4）。育ち過ぎるとスが入ったり（中心部に空洞ができる状態になること）、球に亀裂が入ったりします。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

園芸研究家●成松次郎

生活館からのお知らせ

農・畜・水産まつりセール

9月24日(日) 9:00～19:00まで

当農協組合員が生産した新米はえぬきや生鮮コーナー大特価で販売いたします!!ご来店お待ちしております。

資材館からのお知らせ

9月2日(土)～10月15日(日)までの
土・日・祝日は農繁期対応のため
午前中営業いたします。

令和5年度 しょうない秋まつりについてお知らせ

- 開催日時／令和5年10月1日(日) 10:00～14:30
- 会場／庄内町総合体育館周辺
- 主催／庄内町観光協会

JAあまるめブースでは、
おにぎり・あんこ餅・
野菜等販売いたします。
ぜひご来店ください!!



※台風等荒天時には中止となる場合がございます。
開催可否等の情報については庄内町観光協会ホームページに掲載する予定です。ご了承ください。
※取り扱い品目は変更になる場合がございます。

第57回 庄内フラワーショー開催!!

- 開催日／令和5年9月30日(土)～10月1日(日)
- 会場／酒田駅前交流拠点施設ミライニ 1階 光の湊ロビー
(酒田市幸町1丁目10-1)
- 主催／庄内花き生産組織連絡協議会
- 内容／

令和5年9月30日(土)

11:00～17:00 一般公開、人気投票
※人気投票ご協力の方へ抽選で
花ギフトプレゼントします。

令和5年10月1日(日)

10:00～17:00 花の販売会
※売り切れ次第終了となります。

●その他／入場料 無料

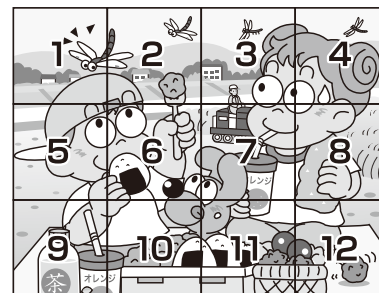
※花のご購入は現金のみとなります。※お越しの際は隣接の立体駐車場をご利用ください。(2時間無料)

●お問い合わせ先／JA全農山形園芸庄内推進室 風間 TEL:0234-26-5253

まちがいがし

8月号当選者・正解

佐々木日和さん(御殿町) おめでたうさぎです。
河村 佳恵さん(興 野) たくさんの応募ありがとうございます。
清川 芳美さん(下朝丸) 抽選の結果10名の方が当選されました。
佐藤 清信さん(上朝丸)
佐藤 孝さん(廿六木)
遠田千枝子さん(廿六木)
佐藤 照子さん(廿六木)
佐藤カツ子さん(横 島)
小関 琉雅さん(榎 木)
菅原 国昭さん(上堀野)



答え

- 2... 唐揚げの大きさが違う
- 5... 帽子のつばが上がっている
- 9... ストローが真っすぐ
- 11... おにぎりが1つかしられている
- 12... トマトがブロッコリーになっている

●クイズに答えて賞品をゲットしよう!!
たくさんのご応募お待ちしております。
(応募箱はAコープあまるめ入口脇に
設置されてます)

身近な話題や「ほのか」の
感想をお寄せいただきました。



◎前回開催のJA夏まつりに参加させて頂いたことを思い出しました。今年は参加できませんでしたが、来年以降参加したいです。(37歳 女性)

4年ぶりの開催となったJA夏まつりは大盛況となりました。来年以降も様々な企画を考えて、組合員・地域の皆様を楽しんでもらえたらと思います。来年はぜひ参加してくださいね!

◎JA夏まつりも4年ぶりに開催され、良かったと思います。皆の笑顔や喜んでいる様子が「ほのか」で見れてよかったです。(74歳 女性)

JA夏まつりでは約300人が参加されました。老若男女問わず、皆さん楽しんでおり、あちらこちらで笑顔が見られました。暑い時期の開催となりますが、来年もぜひ皆様に参加していただきたいです!



豚こまのピリ辛あえ

●材料(4人分)

豚こま肉200g
もやし100g
キュウリ1 本
ニンジン1/4 本
たれ
麵つゆ大さじ 3
コチュジャン小さじ 2
ラー油小さじ 2
白ごま小さじ 1
かい割れ大根適宜

●作り方

- (1) キュウリ、ニンジンは千切りにして水にさらす。豚こま肉ともやしはゆでて冷水に落とし水気を切っておく。
- (2) ボウルにたれの材料を入れ混ぜ合わせ、(1) の材料を入れあえる。
- (3) (2) を器に盛り付け、かい割れ大根のをせ出来上がり。



シェフ 永井の
おすすめ

